

環境にやさしい学校づくり

～学校版環境ISOの取組～

学校版環境ISOとは、環境にやさしい学校づくりを児童生徒・教職員が話し合い、全校をあげて実践活動に取り組むものです。子どもの頃から、環境について考える機会と実践を通して、将来を担う子どもたちの環境に対する意識を高めることを目的としています。

平成19年度から県内のすべての公立小中学校で学校版環境ISOの取組を行っており、数値目標を掲げた活動や家庭・地域と連携した活動など「環境立県くまもと」の実現を図る取組が展開されています。

環境にやさしい、みんなにできることを学校の中で組織的に取組んでいます。

宣言



宣言発表会

環境にやさしい学校づくりのために、やっていること、やりたいことを数値目標に掲げ、宣言します。

見直し



エコチェックカード

記録を見て、新たな行動目標をたてます。定期的な見直しにより、継続的な実践が可能になります。また、内容の充実も図られます。

記録



環境委員会の取組

取組の成果が分かるように、水道使用量と電気使用量から二酸化炭素排出量を割り出し、グラフ化し校内に掲示しています。

行動

環境にやさしい学校づくり



清掃活動



ゴミの分別活動

清掃活動、ゴミの分別活動等を通して、環境美化や省資源、リサイクルの大切さについて学びます。



花いっぱい運動



地域活動への参加

花いっぱい運動や地域の方との活動を通して、学校や地域を愛する心を育てます



裏紙の利用

裏紙の使用など、省資源、リサイクルを意識して、教職員全体で取り組んでいます。

【写真提供】平成21年度学校版環境ISOコンクール最優秀賞校
山鹿市立三玉小学校 水俣市立水俣第二中学校

